

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成29年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（プールあり） 新潟市亀田総合体育館			
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	
新潟市主管課	江南区 地域課			
所在地	区名	江南区	住所	新潟市江南区茅野山3丁目1番13号
根拠法令	スポーツ基本法			
設置条例	新潟市体育施設条例			
施設概要	竣工年月日	平成8年4月28日		
	敷地面積	総合運動公園全体 106,501.93㎡（江南区文化会館敷地 約20,000㎡，農村公園分含む）		
	建築面積	7,238㎡		
	延床面積	9,607㎡		
	構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨2階建・塔屋2階建		
	主要施設	<ul style="list-style-type: none"> ○メインアリーナ（バスケットボール2面／バレーボール2面 卓球33台／バドミントン8面） ○サブアリーナ（バスケットボール1面／バレーボール2面 卓球19台／バドミントン4面） ○室内温水プール（25m×6コース・幼児用・低学年・着水プール ウォータースライダー1基） ○トレーニングルーム（トレーニング機器各種） ○ランニングコース（1周 185m） ○観覧席 固定 708席 ・会議室・ミーティングルーム・医務室等 ○屋外テニスコート（砂入れ人工芝 照明付 3面） ○武道場・屋内多目的運動場（平成27年4月1日供用開始）【別棟】 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨平屋建 建築面積 2,803.08㎡，延床面積 2518.40㎡ 武道場（柔道場2面，剣道場2面，簡易観覧席190席） 屋内多目的運動場（フットサル1面もしくは，テニスコート2面） 駐車場（693台 江南区文化会館と共有），駐輪場 総合運動公園トイレ，東屋等 		

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り，市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。
管理・運営に関する基本理念，方針等
<ul style="list-style-type: none"> (1) 新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき，スポーツの普及及び振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するよう管理運営を行うこと。 (2) 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに，住民サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4) 利用者に対し，安全で快適な環境を提供すること。 (5) 新潟市個人情報保護条例に基づき，個人情報の保護を徹底するとともに，業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費削減に努めること。 (7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8) 指定管理者制度を理解し，実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	・月間ホームページ等による情報提供更新1回以上 ・施設利用者への広報誌・情報誌・チラシ等の発行 月1回以上	・週1回 ・月2回	B	kametterの継続更新など、亀田総合体育館独自の広報は評価できる。
	基準利用者数の達成	・年400,000人以上 (うちプール80,000人以上、武道場・屋内多目的運動場55,000人以上)	401,012人(うちプール80,442人、武道場・屋内多目的運動場50,286人)	B	武道場・屋内多目的運動場は、専用利用件数前年比で増加(253件増)したが、1件当たりの人数が多い合宿や大会等の件数が減少したこと、12～2月の大雪で利用者が大幅に減っている。全体では目標の人数を達成していることは評価できる。
	基準稼働率の達成	・アリーナ 70%以上、テニスコート50%以上(4月～10月) *自主事業含む	アリーナ 89.0% テニス 48.1% 柔道場 31.7% 剣道場 54.7% 多目的 84.0%	B	テニスコートは天候に恵まれない月が多かったこと、人工芝の経年劣化が影響して目標値以下だが、アリーナや屋内多目的運動場の高い稼働率は評価できる。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで満足度 5段階中3以上が70%以上 (教室参加満足度・施設利用者満足度)	施設99% 教室98%	A	教室の満足度が前年比17%増加していること、施設の満足度についても近年継続して99%を維持していることも高く評価できる。
	スポーツ教室・事業等の実施	・設置目的に合致した教室 (年間) 1,000コマ以上実施 ・教室参加者 年間 延35,000人以上	2,389コマ/年 45,064人/年	A	教室コマ数・参加者数ともに目標値を大きく達成したことは高く評価できる。
	苦情・要望に関する対応	・苦情・要望は、14日以内に回答	適切	A	対応は迅速だった。館内周知の徹底が行われていたほか、区への連絡体制も確立されている。
財 務	市の収入	・施設使用料収入 年 63,000,000円以上(武道場・屋内多目的運動場含む)	64,803,320円	A	目標値を大きく達成していることは評価できる。
	管理運営経費の削減	省エネ及び環境に配慮した取り組みの実施	節電の呼びかけ エスコ事業への協力	B	節電を徹底していたほか、エスコ事業へも積極的に参加していた。
	業務の効率化	・施設利用者1人あたりのコスト600円以下(武道場・屋内多目的運動場を除く)	458円	A	目標値を大きく達成していることは評価できる。
業 務	他施設等の連携に関する理解	・他施設との連携会議を月1回以上開催	原則週1回館長会議を実施	A	館長会議のほか、区とのミーティングを月1回開催するなど、連携が図られている。
	人員計画の合理性妥当性	・業務基準書で定める以上の各種人員を配置	職員名簿による	B	概ね達成している。
	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の〆切厳守	適切	A	区への報告も早く、館内でも職員間で対応について周知し合っていた。
	事業計画・事業報告の適切さ	・事業計画書・事業報告書提出の〆切厳守	適切	B	指定日時までに提出されている。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易のもの即日。時間を要するものは1週間以内に対応改善	適切	B	改善指導なし。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者の配置の有無 ・安全確保体制の確立の有無 ・防災訓練を年2回以上実施	管理業務マニュアル保有 消防訓練年2回実施	B	安全確保体制が確立されている。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	管理業務マニュアル保有	A	事件・事故対応の蓄積がなされているほか、連絡体制が確立されており、重大事故もなかった。
	地域連携・協力イベント等実施回数	・年1回以上	アスパークまつり 亀田まつり 避難所体験会他	A	地域の祭りへの積極的な参加のほか、避難所として、周辺住民を呼び込んでの避難所体験会は地域連携、防災の観点から高く評価できる。
	関係法令の遵守	・コンプライアンス研修年1回以上実施	マニュアル有	A	概ね達成している。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	A	区の求める業務基準を十分に理解し、業務を遂行している。
配置職員条件の充足	・業務基準書で定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	適切	B	必要な資格・経験を有する職員を配置している。	

人 材	知識や技能の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・プール救助訓練を年2回以上実施 ・業務用研修を1回以上実施 ・トレーニング指導に関するスキルアップ研修を年3回以上実施 	プール10回 トレ9回 業務用7回	A	目標以上の研修を行い、人材育成・技能向上に努めたことは高く評価できる。
	労働基準の充足	<ul style="list-style-type: none"> ・労働関係法令の遵守 	適切	B	適正に遵守されている。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

施設内で利用者41万人を目標に掲げ、個人開放バドミントン・卓球の開放時間の拡大(予約のない時間帯のメインアリーナを個人開放とする、可能な限り卓球台の追加を行う)、プールの月間予定表作成し掲示及び配布、スポーツ教室の増設(要望のあった子ども向けの教室、ミーティングルームの空き時間を活用、稼働率の低い柔道場での教室の開催)など、様々な取り組みを行いました。天候に恵まれず、大雪の影響により昨年度の利用者数よりも微減となってしまいましたが、武道場・屋内多目的運動場の稼働率も徐々に上がってきていることから、さらに利用者の増える取り組みを行います。また、避難所と指定されている施設で、災害時のスムーズな避難所運営の確認、地域の皆さんとの連携を図ることを目的に、避難所体験会を実施しました。施設管理者、避難者の視点で災害への意識を高めることができ貴重な体験会とすることができました。さらに、救急搬送が必要な救急対応が幾つかありましたが迅速かつ的確に対応することができ、7月に発生した救命活動では江南区消防署より表彰をいただきました。今後もお客様が安全・安心・快適にご利用いただける施設管理運営に努めます。

所管課による総合評価(所見)

利用者数に関しては大雪の影響もあり前年比減少したものの、年々増加傾向にあり、利用者の意見を取り入れた教室の充実のほか、館内広報の充実やホームページの更新頻度の多さといった広報力の高さも利用者の定着に繋がっている。職員研修も多く行っており、ソフトサービスの充実も図られている。また、避難所体験会の開催等、公共施設として求められる安全安心が確保されている。日頃の事故対応や安全管理も迅速だが、平成29年度新たに開催した避難所体験会は、地域住民との連携を深めることができ、スポーツ施設としてだけでなく役割を果たした。今後も安全安心の確保のほか、利用者のニーズに応えた施設運営を期待する。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成29年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（無人・無料） 新潟市亀田運動広場（ふれあいドーム・少年野球場）			
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	
新潟市主管課	江南区 地域課			
所在地	区名	江南区	住所	新潟市江南区亀田緑町1丁目810番地3ほか
根拠法令	スポーツ基本法			
設置条例	新潟市体育施設条例			
施設概要	亀田運動広場 敷地面積 亀田運動広場全体 11,678.03㎡ 亀田運動広場駐車場 1,312.34㎡ （ふれあいドーム） 竣工年月日 平成13年5月1日 敷地面積 ふれあいドーム分 997.87㎡ 建築面積 984㎡ 構造 鉄骨造酸化チタン膜葺1階建 砂入れ人工芝 照明付 主要施設 ふれあいドーム（ゲートボールコート2面/テニスコート1面） 物置・トイレ・駐車場 （亀田少年野球場） 敷地面積 11,201㎡ 主要施設 少年野球場（クレー）外野部分一部 ゲートボールコート 倉庫 トイレ 駐車スペース			

施設設置目的	
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
(1) 新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及及び振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するよう管理運営を行うこと。保すること。 (3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4) 利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5) 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費削減に努めること。 (7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8) 指定管理者制度を理解し、実践すること。	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	・年 31,000人以上(2施設合計)	21,333人	C	ふれあいドームで定期的に利用していた団体の利用がなくなり、目標値を大きく下回った。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで満足度 5段階中3以上が60%以上	100%	A	利用者の満足度100%を達成したことは高く評価できる。
	苦情・要望に関する対応	・苦情・要望は、14日以内に回答	適切	A	利用者の要望に対し、迅速な対応がなされており、重大事故なしにも繋がっている。
	市の収入	・施設使用料収入 年 1,400,000円以上(ふれあいドーム)	1,740,720円	A	目標値を大きく達成していることは高く評価できる。

財務	業務の効率化	・施設利用者1人あたりのコスト100円以下	55円	A	目標値を大きく達成していることは高く評価できる。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	A	区の求める業務基準を十分に理解し、業務を遂行している。
業務	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の不徹底	適切	A	区への報告も迅速に行われている。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	適切	A	連絡体制が確立されており、重大事故の発生はなかった。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易のもの即日。時間を要するものは1週間以内に対応改善	適切	B	改善指導なし。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	A	区の求める業務基準を十分に理解し、業務を遂行している。
人材	配置職員条件の充足	・業務基準書で定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	適切	B	体育施設経験豊富な職員が巡回し対応している。
	知識や技能の向上	職員研修を年1回以上実施	1回	B	概ね目標値を達成している。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	適正に遵守されている。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

予約システム導入より2年となり、安価で天候に左右されずに利用できる施設として、ふれあいドームはお客様に浸透しつつあります。主にテニスの利用が多いですが、ホームページでの情報発信を積極的に行い、少年サッカー等の利用も可能であることもPRし、利用者の拡大を図ります。また、今後も江南区ゲートボール協議会並びに亀田少年野球クラブと連携を図り、施設の環境整備・美化に努めます。さらに、非常時に速やかに対応ができるように年2回の消防訓練と、AED使用の講習も行いました。引き続き、お客様に安全・安心・快適にご利用いただけるよう施設管理を行います。

所管課による総合評価(所見)

屋外スポーツも利用できる場としてふれあいドームが浸透し、これまで利用していなかった方にも利用されるようになってきている。今後とも広報に力を入れて新規の利用者獲得、利用者の定着を期待したい。また、利用者の要望に迅速に対応しており、対応の迅速さや地元団体との連携による施設の環境整備は満足度の高さにも繋がっている。地元団体とも良い連携が取れていることも高く評価できる。地元団体との連携を今後とも図ってみたい。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成29年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（無人・無料） かわね公園多目的グラウンド				
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日	～	平成31年3月31日
新潟市主管課	江南区 地域課				
所在地	区名	江南区	住所	新潟市江南区亀田工業団地1丁目2528番地17	
根拠法令	都市公園法				
設置条例	新潟市都市公園条例				
施設概要	敷地面積	15,292㎡	主要施設	野球場（クレー） ナイター照明付 物置 *ナイター施設有料	

施設設置目的	
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<p>(1) 新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及及び振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するよう管理運営を行うこと。</p> <p>(2) 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。</p> <p>(3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。</p> <p>(4) 利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。</p> <p>(5) 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</p> <p>(6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費削減に努めること。</p> <p>(7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。</p> <p>(8) 指定管理者制度を理解し、実践すること。</p>	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	・年間 20,000人以上	14,805人	C	平成29年度から鍵の返却時に報告書を提出してもらい、利用者数の集計を申請書から報告書の人数に変更した。申込時の人数より利用者が少ない事が多く、大きく減少となった。利用実態に合った人数になったが、引き続きイベントを開催するなど、人数が増加するような取り組みの工夫を期待する。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで満足度 5段階中3以上が60%以上	100%	A	利用者の満足度100%を達成したことは高く評価できる。
	苦情・要望に関する対応	・苦情・要望は、14日以内に回答	適切	A	利用者の要望に対し、迅速な対応がなされており、重大事故なしにも繋がっている。
財務	業務の効率化	・施設利用者1人あたりのコスト160円以下	199円	C	昨年度と同様オープン前の内野整備業務を委託料へ費目替えしたため経費がかさんだ。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項、指標の遵守	適切	A	区の求める業務基準を十分に理解し、業務を遂行している。

業 務	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の〆切厳守	適切	A	区への報告も迅速に行われている。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	適切	A	連絡体制が確立されており、重大事故の発生もなかった。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易のもの即日。時間を要するものは1週間以内に対応改善	適切	B	改善指導なし。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・無人施設における巡回安全責任者の選定及び不在時の代理人の選定。 ・連絡体制、連絡方法マニュアルの整備	緊急連絡網保有	B	適宜亀田総合体育館職員が巡回し、安全体制が確立されている。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	A	区の求める業務基準を十分に理解し、業務を遂行している。
人 材	配置職員条件の充足	・業務基準書で定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	適切	B	体育施設経験豊富な職員が巡回し対応している。
	知識や技能の向上	職員研修を年1回以上実施	1回	B	概ね目標値を達成している。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	適正に遵守されている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

施設を知っていただくためのイベント「かわねバッティングスタジアム」を開催し、親子連れに楽しんでいただきました。また、施設の安全管理を徹底するため、区と協議をし、整備道具倉庫に施錠を鍵の貸出を行うとともに、あわせてAEDの設置を行いました。鍵の貸出により、隣接地へのボールの飛び出しの有無や施設の利用状況をお客様に直接確認できるようになりました。これまでの予約時の申請人数から報告書による利用人数での集計により、利用人数が減少となっておりますが、ホームページでの情報発信や12月・3月の利用拡大にて利用の促進を図ります。

所管課による総合評価(所見)

施設の周知、新規利用者確保に向けてイベントを開催しており、新たな取り組みを行ったことは評価できる。また、倉庫施錠やAEDの設置など、安全面にも力を入れていた。ボールの飛び出しの有無等、無人施設で判断しにくかった部分を解消したところも評価したい。
利用者の要望にも迅速に対応しており、利用者満足度100%達成に繋がっている。今後とも利用が増えるようにPRに力を入れてもらいたい。